

所内トピックス

豊橋技術科学大学と連携推進の協定を締結

農業環境技術研究所は、9月21日付けで豊橋技術科学大学と、相互の研究連携により科学技術・学術研究の発展に寄与することを目的とした連携推進協定を結びました。

本協定は、日本で唯一の農業環境に関する研究所である農業環境技術研究所と、10月1日に「先端農業・バイオリサーチセンター」を設置する豊橋技術科学大学とが、両者が持つ研究実績と技術の特徴を活かして連携することにより、農学と工学の連携による農業環境研究の新たな展開を目指すものです。

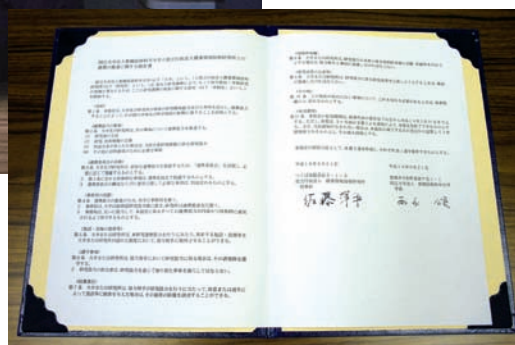
調印式は9月21日、農業環境技術研究所に豊橋技術科学大学から西永頌学長、平石明教授、中嶋昭

雄研究協力課長を迎えて行われました。調印に先立って佐藤理事長から農環研の概要と研究の特徴が説明され、西永学長から大学の概要について、平石教授から先端農業・バイオリサーチセンターの概要についての説明がされた後、理事長と学長により協定書に署名がなされて調印式を終えました。

農業環境技術研究所と豊橋技術科学大学とは、これまで化学物質の動態モデルの開発など、個別の研究テーマを通じて研究協力を行ってきました。今後は本協定に基づいて、両機関から選出された構成員による連携委員会において協議を行い、①研究者の交流、②研究・技術情報の交換、③合意された研究課題に係る研究協力等の事項について連携協力を推進します。



調印後、握手する佐藤理事長（左）と西永学長（右）



(連携推進室長 井上 恒久)